



2022年3月31日発行200号
三浦半島地区委員会公郷2-1-9
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ大村洋子→検索



あらゆる市政の課題に切り込みました

3月定例議会・代表質問



- ① 財政 ◆下水道事業への繰り出しの考え方
◆水道料金、下水道使用料値上げの方向
- ② お困りごと・相談体制の強化
◆保健師の地域担当制
- ③ 気候危機 ◆2030年のビジョン ◆EV助成
- ④ ジェンダー平等社会実現
- ⑤ かがみ田苑の労働基準監督署臨検と指定管理者制度
- ⑥ 市の職員の働き方と人員削減問題
◆過労死ラインと「ワークライフバランス」
- ⑦ 教育施策 ◆電磁波問題 ◆修学旅行費
- ⑧ 多種多様な課題を冷静に受け止める
教育行政を行うことを教育長に質す
- ⑨ 米軍基地関連 ◆泡消火剤 ◆コロナ
現政権が打ち出している内容について
- ⑩ ◆敵基地攻撃 ◆土地規制法 ◆核兵器禁止
- ⑪ 佐島漁港芦名地区の防波堤の有償譲渡
- ⑫ 美術館の市長部局への移管

横須賀市 2022 年度予算案

一般会計は
1,574 億 5 千万円
昨年より 20 億 6 千万円減

特別会計
国保、介護、公園墓地等
1,106 億 8,900 万円
昨年より 14 億 3,100 万円
増

事業会計
水道 164 億 8,700 万円
昨年より 18 億 5,700 万円
増
下水道 271 億 5,100 万円
昨年より 6 億 4,500 万円減
病院 35 億 8 千万円
昨年より 9 億 8,600 万円増

給食センター建設
が完了して
△17 億。一方通年
化で 4 億円増

介護保険費は対象者が増えた
ため 21 億円の増。
エコミルの償還も開始で
5 億円増

新市立病院の建
設工事で 10 億
円増。医療機器の
購入で 1 億円増

横須賀市の予算合計

合計 3.153 億 5.700 万円

保健師の地区担当制の導入

以前は地域に根差して活動していた保健師がいつのころからか部門別などに分かれてしまいました。それを新年度からは地域別にして妊産婦・赤ちゃんから高齢者までカバーするようになるので、良いことだと評価します。➡

保健師の力量と多職種連携が要

しかし、生活保護世帯を支援するケースワーカー然り担当職員の力量と熱意がものを言います。その研修をどうするか、同時に地域の行政センター相談窓口、民生委員、包括支援センター、学校のソーシャルワーカーとの連携強化も重要です。

今後は「誰も一人にさせない」という理念の質が問われる

「市営住宅の家賃の滞納があって住宅課に相談に行ったら、生活の相談もしたほうが良いと言って、これを渡されたよ」私のところへ生活相談にいらした方が見せてくれました。そこには生活支援課で生活保護の相談をやっていますというお知らせが載っていました。職員の対応も親切だったとのことです。➡

私はこれを聞いてすごくうれしくなりました。そうなんだ！私が求めていたのはこういう縦割りを超えて市民の困っていることを市を挙げて支援する体制構築なのだ！と再認識しました。

保健師の地区担当制導入同様、市役所の中でも外でも「誰も一人にさせない」を本気で取り組んでほしいと思います。注視・提案していきます。



グローバル
気候アクション
3.25



京浜急行久里浜駅に大集合

市長も代表質問で「若い方が気候問題に関心を持っていることは非常に素晴らしいこと。全世代が一丸となって取り組むことが重要」と答弁。

ならば、気候危機の原因の1つになる石炭火力発電所稼働にも明確に反対の態度を表明するべきではないでしょうか。

お気軽にご利用ください
弁護士による無料法律相談
4/28(木) 5/24(火)
いずれも午後5時～7時
まずはご予約を
090-1107-0498(大村)

「米軍は市民」という前にリスクを考えよ

大村 「やられる前に攻撃する「敵基地攻撃」

第7艦隊所属の米海軍基地があるからターゲットにされるおそれがあると思うが？」

市長 「ターゲットにされるおそれがあるの意味するところが必ずしも明確でない。仮定の質問にお答えすることは差し控える」

こんな答弁では横須賀市民のいのちも暮らしも守れない。首長として無責任ではないでしょうか。